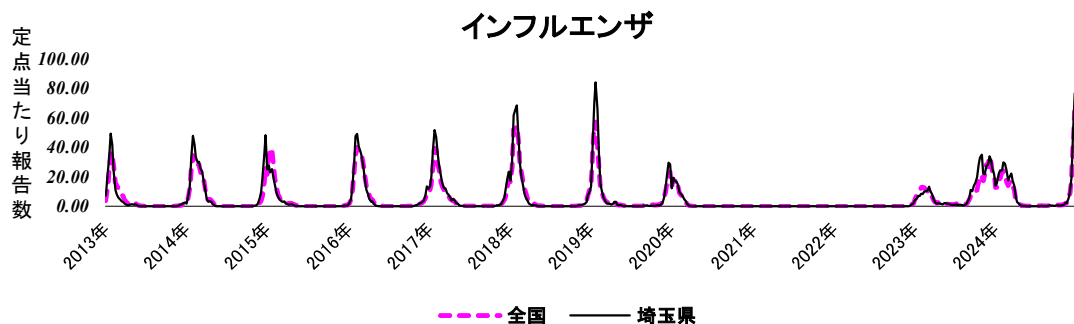


2 内科及び小児科定点(インフルエンザ/COVID-19 定点)把握対象疾患の動向

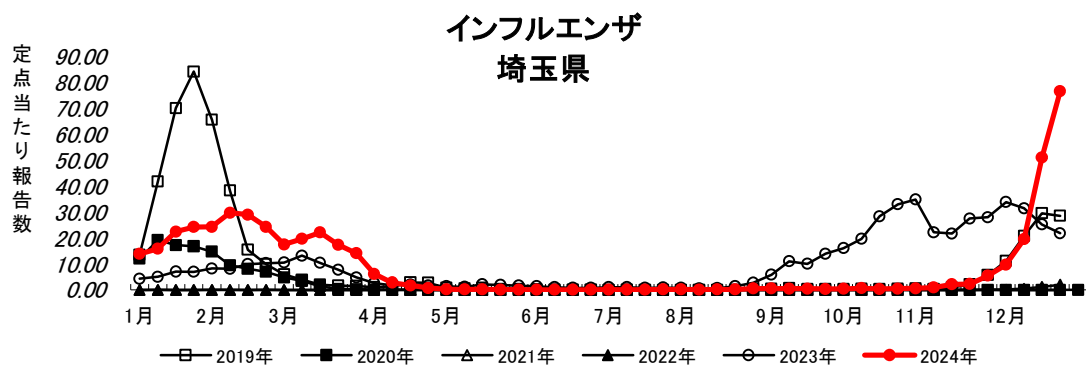
1) インフルエンザ

2024 年の第 1 週～第 52 週の累積報告患者数は 120,781 人であった。定点当たり報告患者総数 468.14 は前年(528.54)を下回った。2023-2024 年シーズンの流行は、例年と比較しても早い時期から報告数の増加が見られ、2023 年第 37 週(9/11-17)には定点当たり報告数 10.00 を上回った。2023 年第 43 週(10/23-29)には、定点当たり報告数 30.00 を上回り、第 44 週(10/30-11/5)にはピークを迎えた。その後、2024 年第 13 週(3/25-31)に至るまで、定点当たり報告数 10.00～40.00 の範囲内を増減しつつ推移し、2023 年第 49 週に二度目の、2024 年第 6 週には三度目のピークとなり、半年間にわたり多い状況が続いた。

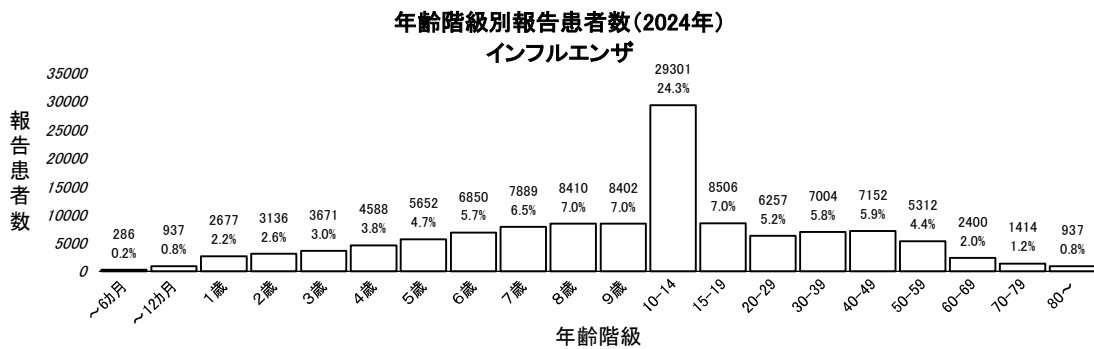
2024-2025 年シーズンは、2024 年第 46 週(11/11-17)から報告数の増加が見られ、定点あたり報告数 1.00 を上回った。2024 年第 50 週(12/9-15)以降、定点当たり報告数は急激に増加し、2024 年第 50 週には 10.00 を、翌週の第 51 週(12/16-22)には 30.00 を上回った。さらに、翌週の第 52 週(12/23-29)は、定点当たり報告数は 76.56 であり、これは 2024 年の定点当たり報告数の最大値にあたり、同時に、1999 年の感染症法施行以降、過去 2 番目に高い値であった。年齢階級別では、20 歳未満が全体の 74.8%、10 歳未満は全体の 43.5%であった。



図Ⅱ-1-1 定点当たり報告患者数の年推移(全国比較：インフルエンザ)



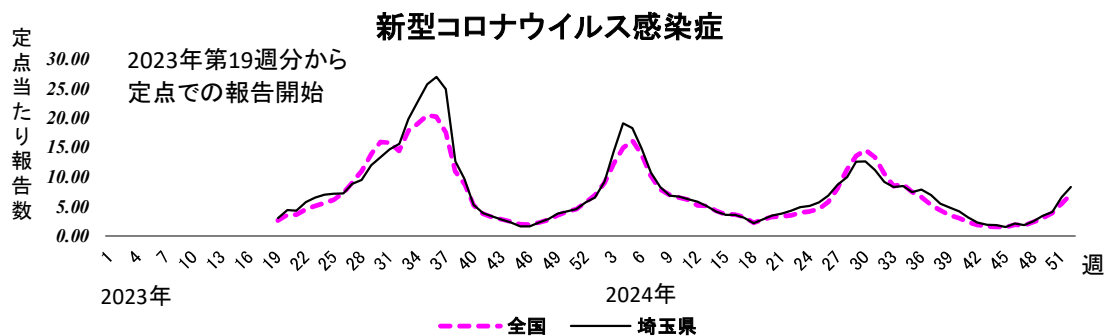
図Ⅱ-1-2 定点当たり報告患者数の推移(埼玉県：インフルエンザ)



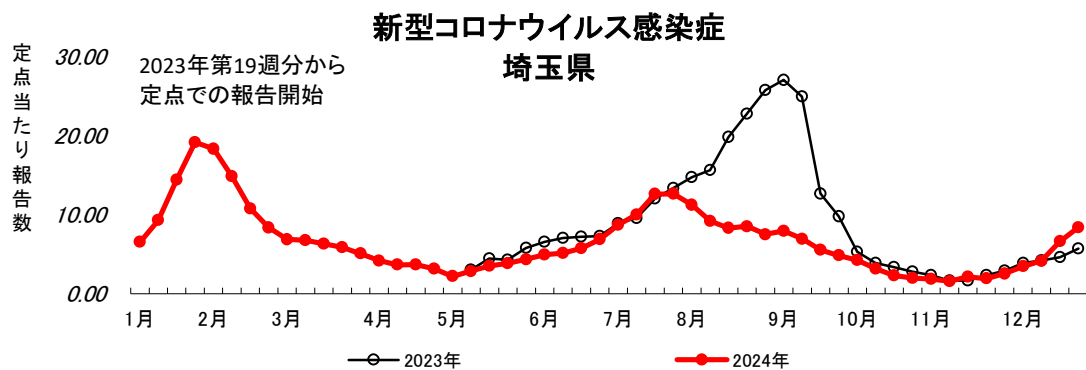
図Ⅱ-1-3 年齢階級別報告患者数(埼玉県：インフルエンザ)

2) 新型コロナウイルス感染症

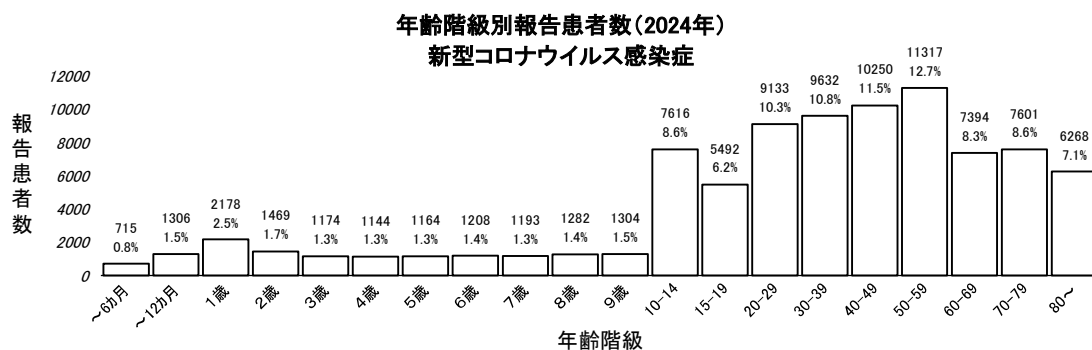
2024年第1週～52週の累積報告患者数は88,840人、定点当たり報告患者総数は344.34であった。2023年第19週(5/8-14)の報告開始以降、全数報告期に引き続き定期的な流行が観察されており、2024年は第4週(1/22-28)と第30週(7/22-28)に流行のピークが観察された。第46週(11/11-17)以降は、再び増加に転じた。2024年の定点当たり報告数の最大値は第4週(19.12)であり、前年の最大値(26.95)より減少した。年齢階級別では、20歳未満が30.7%、20歳以上が全体の69.3%であり、20歳以上では50歳代が最も多く、次いで40歳代が多かった。



図Ⅱ-2-1 定点当たり報告患者数の年推移(全国比較：新型コロナウイルス感染症)



図Ⅱ-2-2 定点当たり報告患者数の推移(埼玉県：新型コロナウイルス感染症)



図Ⅱ-2-3 年齢階級別報告患者数(埼玉県：新型コロナウイルス感染症)